

16年度改定の内容を聞き取り 自民・眼科議連

2016年3月10日 16:51

既にスクラップ済みです。



挨拶する田村会長（中） = 10日、自民党本部

自民党の眼科医療政策推進議員連盟（田村憲久会長）は10日に総会を開き、厚生労働省から2016年度診療報酬改定の内容を聞き取った。

16年度改定では、短期滞在手術等基本料3が見直される。水晶体再建術は、現行では片側・両側にかかわらず▽眼内レンズを挿入する場合2万7093点▽眼内レンズを挿入しない場合2万1632点一となっている。16年度改定では、これを片側・両側に分けて点数設定し▽眼内レンズを挿入する場合（片側）2万2096点▽眼内レンズを挿入する場合（両側）3万7054点▽眼内レンズを挿入しない場合（片側）2万65点▽眼内レンズを挿入しない場合（両側）3万938点一とする。

総会に同席した日本眼科医会の高野繁会長は、眼科関連の全体的な改定内容について好意的な見方を示した。短期滞在手術等基本料3の見直しについても「両眼手術しても片眼だけ手術しても同じ値段というのは、患者さんになかなか説明しづらかった。今回、両眼と片眼にしっかりと分けてもらい、国民に分かりやすいものに変えてもらった」と評価した。

一方、15年3月の同議連設立総会で、高野会長は成人を対象にした公的な「目の健診プログラム」を創設するよう要望していたが、10日の総会でその後の状況を報告した。高野会長は「厚生労働省からは、健診の効果や費用対効果をしっかり示すことが大事だと教えていただいた。厚労省にはいろいろ相談に乗ってもらっている」と説明した。



改定内容についてコメントする高野会長

田村会長は、冒頭の挨拶で「改定率が本体プラ

ス0.49%というのは、私が厚労相だった14年度改定時の約5倍。苦しい中ではあったが、私が大臣だった時よりは、いろんなところに点数を付けやすかったと思う」と述べた。

【国会・政党】の最新記事

[社会福祉法改正案が審議入り、年度内成立へ](#) 参院厚労委 (2016年3月10日 18:27)

[社会保障で新たな勉強会、福祉政策を軸に検討](#) 自民・国会議員 (2016年3月9日 19:33)

[自民・衛藤勉強会、巨額再算定に意見集中 「今後は事前に産業界と話し合う」](#) (2016年3月9日 17:56)

[特定機能病院の承認要件の見直しなど聞き取り](#) 自民・医療PT (2016年3月8日 20:44)

[事故調見直し検討で日医などヒアリング](#) 自民・WT (2016年3月8日 20:27)